

# 防災



小学校高学年

中学校

高校

学級活動

総合

クローズアップ現代

26分

## 子どもたちが綴(つづ)った大震災

(2011年放送)

### この番組の良さ



#### 被災地の子どもたち

東日本大震災の被災地の子どもたちは、私たちの想像以上に厳しい現実に直面しています。番組では、子どもたちが、3月11日とその後をどのように過ごしてきたか綴った作文を紹介します。子どもたちの作文からは、恐怖や悲しみ、寂しさなど、心の揺れだけでなく、前向きに生きようという気持ちも感じ取ることができます。

#### 子どもたちの言葉から伝わる思い

子どもたちの作文は、素直な気持ちであるがままを綴っています。それだけに、自分の受け止めた現実のつらさやこれからがんばっていくという決意が、真っ直ぐ心に伝わってきます。様々な思いを抱えながら、現実に向き合う子どもたちの様子から、辛いことから逃げずに前向きに生きようとする姿勢や人間のたくましさについて学ぶことができます。

### 番組活用のポイント

#### 子どもたちの眼から見た震災

2011年3月11日、東日本大震災が起こりました。この未曾有の天災により、東北地方の大太平洋岸は壊滅的な被害を受け、2万人近くの死者・行方不明者を出しました。被災された方々は、これまで当たり前だった日常生活ができなくなり、今まで考えてもみなかった生活を強いられることになりました。その災害の中で、子どもたちは何を考え、どのようなことを感じていたのでしょうか。

#### 現実に向き合う子どもたちの姿から学ぶ

番組では子どもたちの作文と家族の様子、被害状況が紹介されていきます。当たり前のことですが、一人一人に家族があり、人生があります。これまでの生活から一変してしまった被災した方々にとって、天災だから仕方ないだけでは、割り切れない思いがあります。

震災で父を亡くした少年は、「ぼくはお父さんに負けない野球選手になりたいです」という思いを作文に綴りました。母が未だ行方不明の少女は、「私がんばるから、みんながんばりましょう」という思いを作文に力強く綴っています。様々な思いのこもった子どもたちの作文から、現実に向き合い、辛いことから逃げずに前向きに生きようとする姿勢や人間のたくましさについて学ぶことができます。

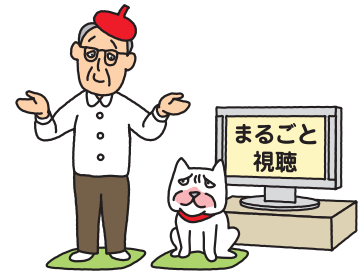
#### より理解を深めるために

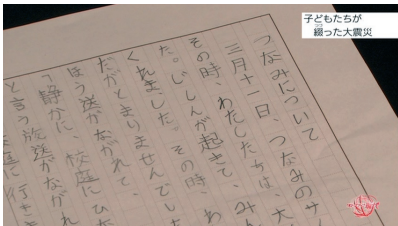

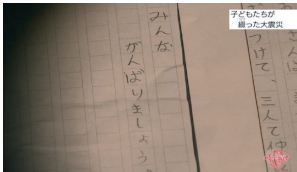
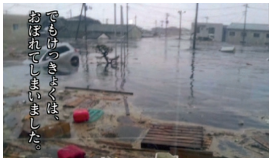

大震災の現実を知り、強い心を育むために、他のティーチャーズ・ライブラリーの番組などを資料として活用すると効果的です。震災の中でたくましく生き抜く姿を描いた『ガレキの町の小さな一歩』(P.34)、本番組で紹介されている作文がまとめられている『つなみ 被災地のこども80人の作文集』などが参考になります。これらの番組などを資料として活用することで、さらに理解を深めることができます。

学習展開例

授業時間 45分

# 困難に負けない力強い姿から 自分たちのできることを考えよう



時間配分	学習活動	教師の支援
8分	<p>①東日本大震災について、知っていることを話し合う。</p> <p>②被災地の人々の生活や子どもたちの様子について話し合う。</p> 	<p>○「2011年3月11日」という日付を提示し、被災地の様子を掲示するなどして、想起しやすいようにする。</p> <p>○大人だけでなく、子どもたちも被害を受けていることを押さえ、「どんなことを考えながら生活しているでしょうか」などと問い、考えを深めることができるようにする。</p> <p>○被災地の子どもたちの作文からその思いを読み取ることを伝え、未来についての自分たちの思いや考えとくらべながら番組を視聴することを伝える。</p>
25分	<p>③番組を視聴しながら考える。</p>  <p>・野球の練習をがんばる鈴木智幸くん(小3)</p>  <p>・「みんながんばりましょう」自分の思いを力強く綴った八幡千代さん(小6)の作文</p>	<p>○メモは取らないよう指示し、番組に集中できるようにする。</p> <p>○少年の言葉「ぼくはお父さんに負けない(野球)選手になりたいです」を板書し、現実から逃げず、前向きに取り組もうという少年の決意を印象付ける。</p> <p>○少女の言葉「(私もがんばるから) みんながんばりましょう」を板書し、震災を共に乗り越えていこうという気持ちを押さえる。</p>
8分	<p>④番組を見ての感想を書き、交流する。</p>  	<p>○子どもたちの心に残った言葉や場面を中心に、感想を書くよう声かけする。</p> <p>○感想を交流し、友達のいろいろな考え方にふれることができるようにする。</p> <p>○「みんながんばりましょう」という千代さんの言葉を取り上げ、この言葉に込められた思いを話し合う。</p>
4分	<p>⑤今日の学習のふり返りを書く。</p>	<p>○今日の学習で学んだことをノートなどに書く。</p>

コラム

被災地の子どもたちの思い

本番組を活用するにあたって、ぜひ読んでもらいたい本があります。本番組で紹介されている作文がまとめられている『つなみ被災地のこども80人の作文集』(文藝春秋増刊2011年6月刊行)です。番組で紹介されている子どもたちだけでなく、被災した子どもたちの思いや考えていることを、より深く知ることができます。未来を担う子どもたちへ、同じ日本の子どもたちの思いをしっかりと伝えることで、子どもたちの考えをより深め、今後自分たちがどのように行動していけばよいか一緒に考えていくことができます。